

令和２年度第２回大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会 議事要旨

1 日 時：令和２年９月１０日（木）午後２時００分～午後４時００分

2 場 所：大阪市立東洋陶磁美術館 地下１階 講堂

3 出席者：

【委 員】伊藤委員、栗原委員、佐々木委員、谷川委員、山西委員、吉田委員

【大阪市】経済戦略局山本理事、経済戦略局小林文化部長、萩原博物館支援担当課長
稲垣博物館支援担当課長代理 他

4 議 題：

- （１）令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる小項目評価の修正（案）について
- （２）令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる達成度評価（案）について
- （３）令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる総評について

5 議事要旨

- （１）令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる小項目評価の修正（案）について

- ・局から資料１および資料１－２に基づき説明。その後、質疑・審議を行い、次年度以降、視点を明確にし、区分けした評価ができるよう事務局と機構の意見をすり合わせることを今後の課題として挙げた。

〔主な意見〕

- ・項目の趣旨についてしっかりと理解して評価を行う必要がある
- ・目標が不明確なため、なぜそのような評価になったのかという部分が見えづらい。
- ・項目の配置について検討してほしい。
- ・各館毎の評価は出すが、事務局で取りまとめることが必要ではないか。
- ・ユニークベニュー事業は本当に行っていないのか。ユニークベニュー事業を理解できているのか。確認が必要なのではないか。

- （２）令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる達成度評価（案）について

- ・局より中項目評価についての考え方について説明。年度ごとの中項目評価はアウトカムによる評価ではなく、アウトプットの達成度により測るという考え方について確認。

〔主な意見〕

- ・中項目評価（アウトカム評価）をしないのであれば、事務事業評価と同じではないのか。
- ・評価に矛盾・違和感を覚える項目がある。
- ・小項目の点数が同じにもかかわらず、中項目の点数が異なっているものがあるのが気になる。

（３） 令和元年度地方独立行政法人大阪市博物館機構業績評価にかかる総評について

- ・局より資料３（２）に基づき説明。達成度が高い項目と低い項目を挙げ、低い項目についてはPDCAを適切に行うことにより改善を行うよう評している。

〔主な意見〕

- ・初の地方独立行政法人として今後活動を期待したい、といったような言葉が入ってもいいのではないか。
- ・課題がどれかを明確に示さないといけない。表現を変えるべきではないか。
- ・今後もコロナのダメージはあるはず。それを乗り越えられるような方向性を示した前向きな文言を入れられるとよいのではないか。

６ 会議資料

資 料 １ 令和元年度小項目評価修正案（案）

資料１－２ 修正箇所抜粋版

資 料 ２ 小項目評価点一覧表（修正版）

資 料 ３ 達成度評価案